

関係各大学長 殿
関係各機関の長 殿

仙台大学設置学校法人朴沢学園
法人事務局長（公印省略）
仙台大学長（公印省略）

教員の公募について（依頼）

時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

さて、このたび仙台大学体育学部スポーツ情報マスメディア学科（後記註1参照）では、下記の要領により教員を公募することといたしました。

つきましては、貴学（機関）関係者にご周知くださいますとともに、適任者のご推薦をお願い申し上げます。

記

1. 専門領域 メディア学、人間情報学、スポーツ情報マスメディア学
2. 職位 教授、准教授、講師又は助教
※ 任期制を採用しており、助教、准教授については、昇任若しくは同職位での再任がありうる。講師については、昇任を除き再任不可。但し延長有。
3. 担当科目等 (1) 高等学校教員免許状（情報）の教職課程「マルチメディア」領域に関連する科目
※ 「情報社会・情報倫理」或いは「情報と社会」、又は両領域も担当できるとなお良い。
※ 令和5年申請予定
(2) デジタルメディア、メディア制作、メディア文化に関連する科目
(3) 体育学部スポーツ情報マスメディア学科開講科目の内、「スポーツ情報マスメディア総論」等、上記(1)、(2)を含む領域に関する科目
4. 採用人数 1名
5. 応募資格 (1) 修士以上の学位を有する者、又はこれと同等以上の教育研究業績を有する者。
(2) 将来は大学院の関係科目が担当できる者。
(3) 高等学校教員免許状（情報）の教職課程の申請を行うため、「マルチメディア」に関する活字媒体での研究実績等を複数有していること。「情報社会・情報倫理」或いは「情報と社会」又は両領域に関する活字媒体での研究実績等があるとなお良い。（後記註2参照）
(4) 建学の精神、教育理念などに基づく仙台大学の教育研究の他、社会貢献に協力できる者。
(5) 業務に支障のない程度に日本語ができること。
6. 採用予定 令和5年4月1日
7. 応募書類 (1) 履歴書（写真貼付）
サイズ：A4横書き（ワープロ可、但し自筆で署名捺印のこと）
記載事項：学歴、職歴（教育・研究歴、学内管理業務歴）、他職歴を含む社会的活動、賞罰、応募の動機・抱負
(2) 研究業績一覧（200字以内の概要を記載。）

- (3) 主要研究業績5編以内の現物又は写し
(4) 競技歴、スポーツ指導歴、他資格等あれば、参考資料としてその概要をA4横書きで添付すること。(様式任意)
(5) 推薦者がある場合には推薦書(様式任意)
8. 応募締切日 令和5年1月13日(金) 必着
9. 応募書類提出先 〒981-8570 仙台市青葉区川平二丁目26-1
学校法人朴沢学園 法人事務局長 宛
※ 応募書類は簡易書留による郵送とし、封筒には『「マルチメディア」領域教員公募』と朱書きすること。
10. その他 (1) 勤務形態・給与等は、学校法人朴沢学園船岡地区就業規則による。
(2) 応募書類は返却いたしません。
(3) 提出された個人情報厳重に管理し、採用選考の目的以外には使用しません。
(4) 書類審査の後、必要に応じて面接を行います。
11. 問い合わせ先 専門領域、担当科目、応募資格については、
〒989-1693 宮城県柴田郡柴田町船岡南二丁目2-18 TEL: 0224-55-1121
仙台大学体育学部スポーツ情報マスメディア学科 准教授 橋本智明
E-mail: ca-hashimoto@sendai-u.ac.jp
その他については、学校法人朴沢学園法人事務局総務室 鳥澤
TEL: 022-278-9136 E-mail: somu@hozawa.ac.jp

(註1) スポーツ情報マスメディア学科のディプロマポリシー

「スポーツ情報の関連分野を修得し、多面的な履修を通じて卒業後社会で専門性を発揮できる力と専門的な学修能力を養うとともに、すべての人の健康増進やスポーツ選手の競技力向上に必要な運動・スポーツと情報の活用に関する深い知識と感性を有し、これを実践できる力を身につけること。」また、本学は、令和4年度「数理・データサイエンス・AI教育プログラム」リテラシーレベルに認定され、スポーツ科学面から、同教育に取り組んでおります。

(註2) 本学では、令和6年度の高等学校教員免許状(情報)の教職課程認定を目指しており、申請に際し「担当授業科目に関する研究業績等」について以下のような条件があることをご承知置き下さい。

- 平成25年4月以降の公刊済の活字業績(著書、学術論文等、教育実践記録等、その他)であること。
※ 論文として発表済であっても、未刊行の場合は記載できない。
- 「著書」は、出版社を通して流通し、書店等において販売されているもの。
- 「学術論文」は、国際学術雑誌、学会機関紙、研究報告等に学術論文として発表したもの。
- 「教育実践記録等」は、大学や教職員支援機構等での指導や研究会等での研究発表、校内研修での実践発表等における実践的・実証的研究成果の発表記録や著作等で活字化したもの(いわゆる「研究紀要」「研究集録」「研究レポート」「実践レポート」「教育論文」等)。
- 「その他」は担当授業科目に関連する報告書や教育関係雑誌等、活字として発表し、広く世間一般に向けて刊行されている研究業績。